

年 組 名前:

外国人ラジオで紹介

富士吉田市のコミュニティーFM放送局「FMふじやま」の番組内で、市の日本語教室に通う在留外国人を紹介する取り組みが続いている。外国人は、教室で日本語講師を務める杉本充江さん(62)＝同市下吉田3丁目＝がパーソナリティを務める番組内出演。住民への周知とともに外国人の地域での社会参加を促すのが狙いで、杉本さんは「外国人たちの社会経験につながることを理想」と話している。

〈赤池悠〉



収録に臨むカリキ・カゲンドラさん(左)
＝富士吉田市内

富士吉田 日本語教室生 社会参加へ



赤池 悠、武田 寛明、
森 航平(富士北麓)
飯野 裕平(大月上野原)
森 航平(都留)

在留外国人が出演するのは、FMふじやまで毎週土曜午後6時半から30分間放送されている「やさしい日本語」の1コーナー。番組は、杉本さんがパーソナリティを務め、開局直後の2016年5月から続く。難解な言葉が多い防災情報を、主に在留外国人や子ども、お年寄りに分かりやすく伝えることを目的としている。

教室の外国人らが番組に出るようになったのは、4年ほど前から。地域で暮らす外国人を知ってもらい、本人たちの社会参加を促そうと外国人いらっしやいのコーナーを始めた。ある程度日本語を話せるようになった外国人に出演を打診し、これまで40人ほどが登場したという。

コーナーでは、来日の理由や日本の好きなもの、将来やりたいことについてインタビュー形式で語ってもらう。収録した内容は1人分を1カ月間放送する。昨年11月下旬には4人が収録に臨んだ。今月から放送が始まっている。

収録を終えた、昨年2月にネパールから来日し、市内の企業で働くカリキ・カゲンドラさん(分)は「ラジオで話せるのはとてもうれしいし、幸せなこと」喜んだ。杉本さんは「多文化共生を目指す上で、社会の構成員の一人として認められているんだという感覚がとても大事。ラジオ出演がそういう機会になればいい」と話していた。

(2025年1月21日付 山梨日日新聞15面)

問1 富士吉田市のコミュニティーFM放送局が、番組内で在留外国人を紹介する取り組みを行っている理由を教えてください。

.....

問2 在留外国人が出演する番組名と、番組の目的を教えてください。

・番組名:

・目的:

問3 パーソナリティの杉本さんは、この番組について、どのように話していますか。

.....

.....